

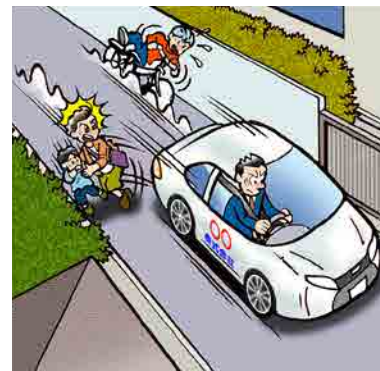
9月の安全運転ごよみ

1日（月）…防災の日 9日（火）…救急の日 15日（月）…敬老の日
21日（日）～30日（火）…秋の全国交通安全運動 23日（火）…秋分の日 30日（火）…交通事故死ゼロを目指す日

9月の安全運転目標

業務中の危険な運転に注意しよう

近年、ドライブレコーダーやスマートフォンの普及により、危険な運転や交通違反は、またたく間にSNS等で拡散されるおそれがあります。社用車で悪質な運転をすると、企業のイメージダウンは避けられません。今月は、業務中に行いがちな危険な運転とその防止策を紹介します。



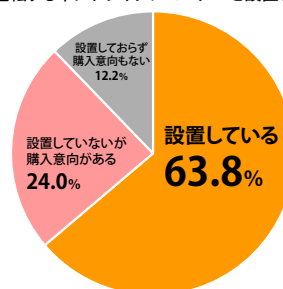
■ ドライブレコーダーの設置率は63.8%！「見られている意識」で安全運転

ドライブレコーダー等を製造・販売するパイオニア(株)が2024年に実施した「ドライブレコーダー利用実態、ヒヤリハットに関する調査」では、ドライブレコーダーの設置率は63.8%となっています。

これは、日頃すれ違ったり、後ろを走ったりする車の半数以上の割合でドライブレコーダーが付いていると言うことができますので、つねに「周囲から見られている」ことを意識してください。

特に、業務中の運転は「会社の代表」として、より一層、交通ルールとマナーをしっかりと守った運転を心掛けましょう。

ご自身が運転する車にドライブレコーダーを設置していますか？
n=1,000



パイオニア株式会社
「ドライブレコーダー利用実態、ヒヤリハットに関する調査」

○ 事 | 故 | 事 | 例



営業車の危険運転がSNS上で拡散され、炎上する事態に

2022年8月、兵庫県内の道路上で、信号無視をした軽自動車と、横断歩道を横断しようとしていたこどもが接触しそうな事案が発生しました。その様子を記録したドライブレコーダーの映像がたちまちSNS上で拡散され、車には企業のロゴが入っていたことから大問題に発展し、その企業はホームページ等で謝罪する事態に陥りました。

たった一度の不注意や危険な運転が、個人の問題に留まらず、会社全体のイメージダウンに直結することを肝に銘じておきましょう。



危険な運転は 企業のイメージダウンに直結

歩行者優先を徹底する

信号機のない横断歩道を通過する際には、歩行者の見落としに注意しましょう。歩行者がいるかいないか判断できないときは、停止できる状態を整えてください。

また、生活道路等では、歩行者の有無にかかわらず、まずは減速して走行してください。そして、歩行者の横を通過する際には、歩行者に恐怖心を与えないように側方間隔の確保に努めましょう。一人ひとりの運転マナーが、企業の顔となります。



道路を横断しようとする歩行者を見落とさない

交差点への強引な進入はしない

信号の変わり目に速度を上げて交差点を通過しようとしたり、混雑する交差点内に入って立往生してしまうと、周囲からは「危険な運転」という印象を持たれてしまいます。

黄信号では安全に停止する、渋滞している交差点では前方に自車のスペースが確保できるまでは進入しない、といったことを心掛けましょう。

安全運転は事故を防止するだけでなく、会社の信頼を守る上でも不可欠です。



交差点の先の状況をしっかりと確認すること

運転者として
知っておきたい知識

短時間でも駐車場を利用しよう

「短時間だから」とつい行いがちな路上駐車は、渋滞の原因になるだけでなく、歩行者の通行を妨げたり、死角を生み出し交通事故のリスクを高めることにもつながります。

まずは、「社用車は人々の印象に残りやすい」ということを意識しておきましょう。

そして、周囲への配慮を忘れず、車を駐車する必要がある場合には、たとえ少しの時間であっても、可能な限り、駐車場を利用するようにしましょう。



駐車車両が死角を生み出すことも